闘灯 ともしび

BUNKAI NEWS

１月２８日（木曜日）

発行責任　石橋康裕
編集責任　教宣部

仲間の団結の温もりを大切に闘いの強化

当面する行動

2月16日（火）
JRの安全と利便性の向上を求める千葉駅頭宣伝行動　17時30分～　千葉駅頭

2月20日（土）
安全と利便性を損なうワンマン運転拡大反対館山地区集会　13時～　館山市なのはなホール

本当にこんな情報管理で大丈夫
個人情報駄々洩れでも対応なし

ズサンな情報管理と対応

JESS千葉支店の情報管理はこれで本当に大丈夫なのでしょうか？

１月27日支店から現場にメールが誤送信されました。

内容は津田沼駅務管区内での新型コロナウイルス感染についてです。

家族の「個人情報」が記載されておりこのメールを発見して現場の社員は驚きを感じたといっています。「こんな個人情報が各現場に送信されていると思うと不安と恐怖しかない！」

との率直な感想が述べられています。

「闘灯」24号にて報告したように千葉支店内で発生した新型コロナウイルス陽性感染者の情報は各現場には一切報告されず、「情報の共有化」が一切されず、知らせてはいけない、あってはならない「個人情報」が駄々洩れになっても支店から各現場に「お詫び」やお知らせが一切ない状況です。

こうした支店の意識や感覚は現場の意識や感覚とは大きなズレとなっておりここに私達は、危機感を抱くのです。

過日埼玉県に於いても、新型コロナウイルス感染者の「個人情報」がホームページにおいて閲覧可能の状況になり謝罪を含めて記者会見を実施しています。

支店に記者会見を求める気はありませんが、せめて現場に経緯と誤りを認めて「お詫び」と訂正をしなければならないと考えます。

本人に説明し了承を得たから全く問題ないとする支店の姿勢には疑問を覚えます。

現場に情報管理の徹底を求める立場の人がこの現状では：：

SOTOBO
外房線
NARITA・HASIMA
成田線
鹿島線
KEIYO
京葉線
SOUBU
総武本線
KURURI
久留里線
TOUGANE
東金線
UCHIBO
内房線
MUSASHINO
武蔵野線